

福山みらい創造ビジョン

～人口減少対策アクションプラン2021～

2021年(令和3年)3月

福山市企画財政局
企画政策部企画政策課

目次

1 人口減少対策について

政策ターゲット(9つのペルソナ)の設定
推進体制

2 アクションプラン2021の特徴

新型コロナウイルス感染拡大による意識変化の把握、AIの活用
2021年度の主な取組

3 ペルソナごとの主要な施策

4 ペルソナごとの成果目標

5 人口減少対策ロードマップ

6 2021年度 ペルソナに対する施策一覧

1-1 人口減少対策について

福山みらい創造ビジョンでは、「新型コロナウイルス感染症対策の強化」、「都市魅力の創造」、「人口減少対策の強化」を3つの柱として、取組を推進しています。本アクションプランは、人口減少対策の強化について、取りまとめたものです。

ペルソナ

人口減少対策では、データに基づき、進学・就職や結婚・出産など人生の転機ごとに**9つの人物像**を設定し、産業界や金融機関、大学、市民代表と連携して、まずは現役世代を減らさない取組を進めます。

2040年の
目標

多様なライフスタイルが
実現できるまち

チャレンジへの選択肢がたくさんある

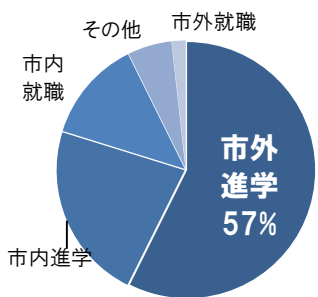
希望のライフスタイルへのサポート

多様性を尊重しあえる心

ライフステージごとの課題

進学時

高校生の進学/就職状況



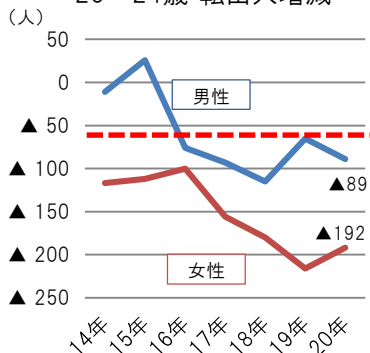
出所：広島県学校基本調査、高校生進学先調査(福山市)

進学時の転出超過

- ・高校生の約6割が市外に進学(うち4割が大学)

就職期

20~24歳 転出入増減



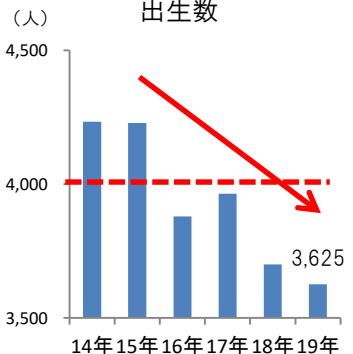
出所：住民基本台帳

就職期における転出超過

- ・20歳代で男女共に転出が増加傾向、特に就職や転勤を理由とする転出超過が大きい

結婚・出産

出生数



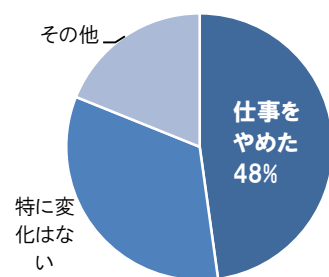
出所：厚生労働省「人口動態調査(確定数)」

出生数の減少

- ・出生数が4,000人を下回る
- ・2012年以降、自然減が継続

子育て

結婚や出産後の仕事の変化



出所：「市政に対するニーズ把握のための定量調査(WEBアンケート)」

子育てと仕事の両立に対する負担

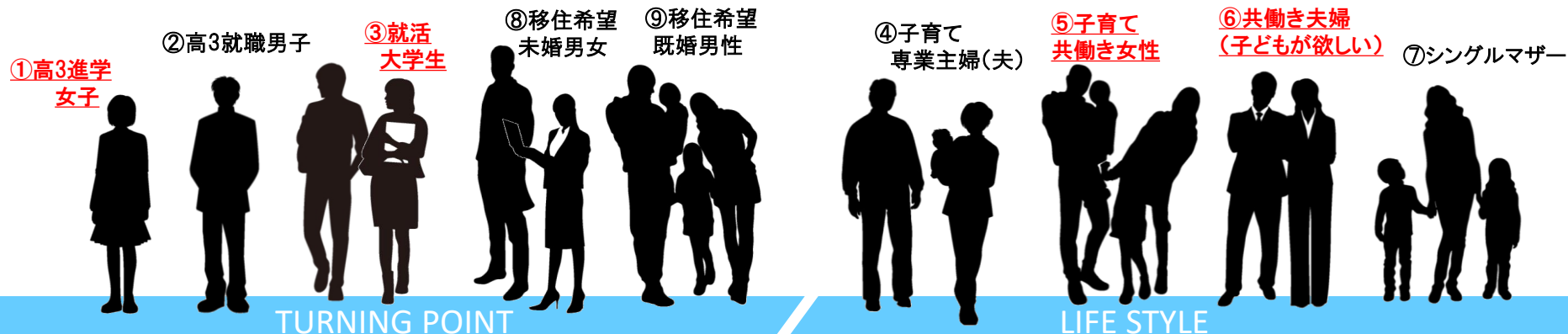
- ・5割の女性が結婚や出産を機に退職

1-2 政策ターゲット(9つの人物像)の設定

人口減少対策を **3つのターニングポイント** と **4つのライフスタイル** で捉え、9つのペルソナを設定。

特に人口増減に影響のある**4つのペルソナ**に重点的に取り組みます。

※ 重点ペルソナ:下線



ターニングポイント (社会増減) 進学 就職 移住

ライフスタイル 専業主婦(夫) 共働き(子どもあり) 共働き(子どもなし) シングル

1-3 推進体制

産学金官民で役割分担、そして、チャレンジ!



2-1 アクションプラン2021の特徴

特徴1 新型コロナウイルス感染拡大による意識変化を捉え、ペルソナの声を更新

「大学生」 (ペルソナ③)

働き方や地元就職に対する意識などが変化

例 働き方などの意識

テレワークなど柔軟な働き方ができる
 企業で働きたいと考えようになった：38.2% (2位)
 地元で就職したい気持ちが強くなった：20.2% (4位)
 将来、地元に戻りたい意識が強くなった：18.0% (5位)

※福山市「市外に進学した福山市出身学生の就職観等に関する調査」(2020年7月)

「子育て世代」 (ペルソナ④、⑤、⑥、⑦)

家族との関係や働き方などが変化

例 家族との関係 (昨年比)

家事や育児の時間が増えストレスを感じた
 女性：25.6% (うち子育て専業主婦：62.5%)

※福山市「新型コロナウイルス感染症による住民の意識・行動変化に関するアンケート調査」(2020年6月)

「移住希望者」 (ペルソナ⑧)

地方移住への関心度などが変化

例 地方移住への関心 (東京都23区、20歳代)

関心が高くなった：35.4% (「高くなった」、「やや高くなった」の計)

※内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(2020年6月)



⇒ 意識変化に対応 (地元就職の魅力向上 など)

特徴2 AIによってペルソナの満足度の高い未来を予測し、分岐点を明確化

【重点ペルソナ】
3人目を考えている25~39歳
子育て中の共働き女性



分岐点に必要な主な状況（ポイント）

- ・ 経済的な余裕の実感
- ・ 男性の家事・育児サポートの定着
- ・ 三世代や地域での子育て支援体制の充実
- ・ 子育てや仕事のストレス軽減
- ・ 子どもが健やかに成長できる環境の充実
- ・ 女性が働きやすい、働きたくなる職場の増加

主なポイント

親子で楽しめる環境の充実
(イベント、文化施設、スポーツ環境)

主なポイント

仕事と生活が共に充実

30年後

理想の子どもの数の
上昇・実現
満足度の高い子育て
と働き方の実現

分岐

分岐

分岐

現在

2025

10年後

15年後

25年後

10年後の分岐までに 必要なポイントを達成

- ・ 男性の育児参加促進
- ・ 三世代や地域における子育て支援の充実
- ・ 経済面の不安の解消など

各分岐点から予測される
他の未来の特徴

女性の活躍が少ない
プライベートの幸福度が低い

仕事に疲弊、
親子の関係が悪化

出生率が上がらない

2-2 2021年度の主な取組

コロナによる意識変化に対応した取組

地元就職の魅力向上

- 〈拡〉企業・事業者のデジタル化支援（相談窓口の設置等）
- ④IT導入の補助

働く・暮らす“体験”の充実

- 〈拡〉ワーケーションふくやま（備後圏域でのツアー等）
- ④企業の人材確保支援の強化（転職希望者へのインターンシップ等）

子育て女性の心と体のケア

- 〈拡〉産後ケアの充実（家庭訪問による体調管理等）
- ④産婦健康診査の補助



AIによる未来予測をもとに強化する取組

男性の育児参加の促進

- ④男性の育児休業取得支援
- 子育てパパ活躍ウィークの実施

地域における子育て支援の充実

- ④子ども食堂やフリースクールの活動支援



子どもが健やかに成長できる環境づくり

- ④ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」を商業施設で再開
- ④親子で学び・楽しめる場の充実（びんごキッズラボの開催等）

ペルソナの満足度の高い未来を支える基盤づくり
（循環型地域経済の形成）

- 地域商社機能の構築
 - 成長産業などの企業誘致の促進
- など

3 ペルソナごとの主要な施策

9つの人物像 (ペルソナ)

《各ペルソナに対する取組イメージ》

ペルソナ人物像

施策方針



ペルソナの
詳細

ペルソナの満足度を高める主な施策

《凡例》
アップデートしたペルソナの声と対応する施策・・・下線
市と民間で連携して実施する取組・・・ 官民連携

詳細

【重点】ペルソナ① 高3進学女子

市外大学への進学を考えている
高校3年生の女子

福山で暮らす“未来を描く”



A. 広島市や岡山市など
近隣の地方都市か
大阪圏の大学へ進学したい。
将来戻るかはわからない。

B. 駅前に友達と遊んだり
買い物できる場所が少ない。

年齢：18歳
性別：女性（未婚）
職業等：高校生（大学受験を控えている）
子ども：なし
住まい：福山市に在住（実家）

詳細

キャリアデザイン×ライフデザインの構築支援

○ グローカル人材育成事業

- 高校生に地元企業の良さや課題を学ぶ場を提供
- 地元企業の良さ、自らが探究した課題の解決策をまとめ、市内の各高校へ情報共有

○ 若者人材育成等支援事業（出前講座）

- 産業支援コーディネーターによる職業観の醸成や地元企業の認知度向上を目的とした講座を開催

地元定着の促進

○ 新たな奨学資金制度の創設

官民連携

- 金融機関と連携した低金利の奨学金と市内での就職を条件とした返済補助制度の創設

○ 市外大学への通学支援

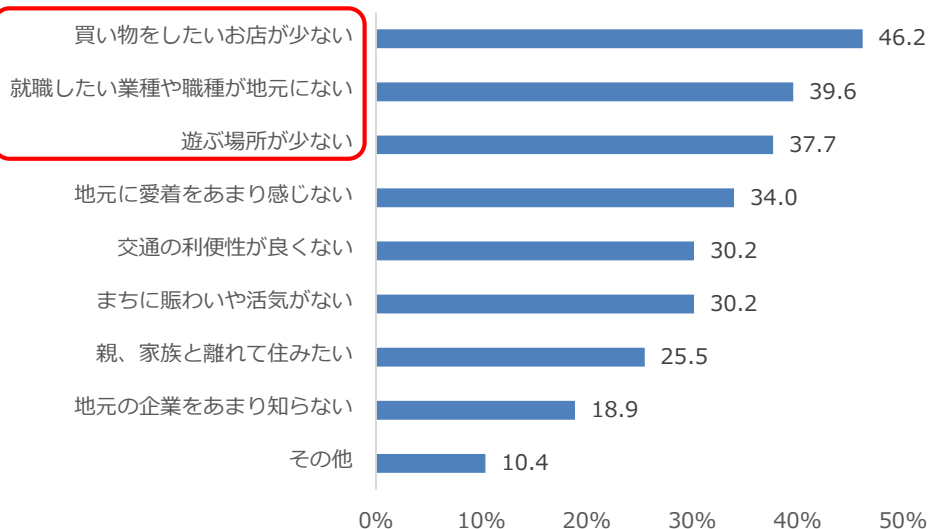
- 市内の就職関連イベント等に参加することを条件とした市内から市外大学に通う大学生に対する通学費の補助

福山市在住 高校3年生（女子）の進路状況

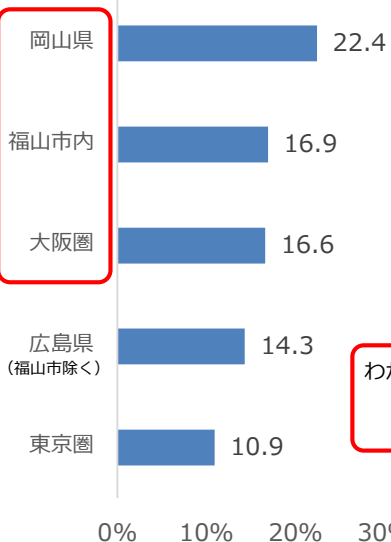
		女子高校生		男子高校生	
進学	大学等	市内	12.3% 280人	12.2% 280人	
		市外	44.4% 1,011人	44.1% 1,009人	
	専門学校	25.8% 588人	20.7% 474人		
就職	市内	10.2% 232人	15.7% 359人		
	市外	0.8% 19人	2.7% 62人		
その他		6.5% 148人	4.6% 105人		
合計		100% 2,278人	100% 2,289人		

※「平成27年国勢調査人口等基本集計」などを基に推計

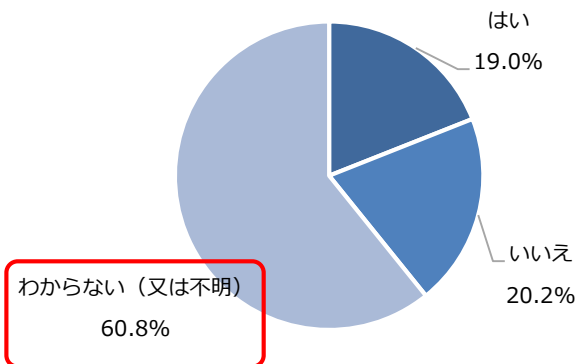
将来、住んでいる町に戻って来たくない理由



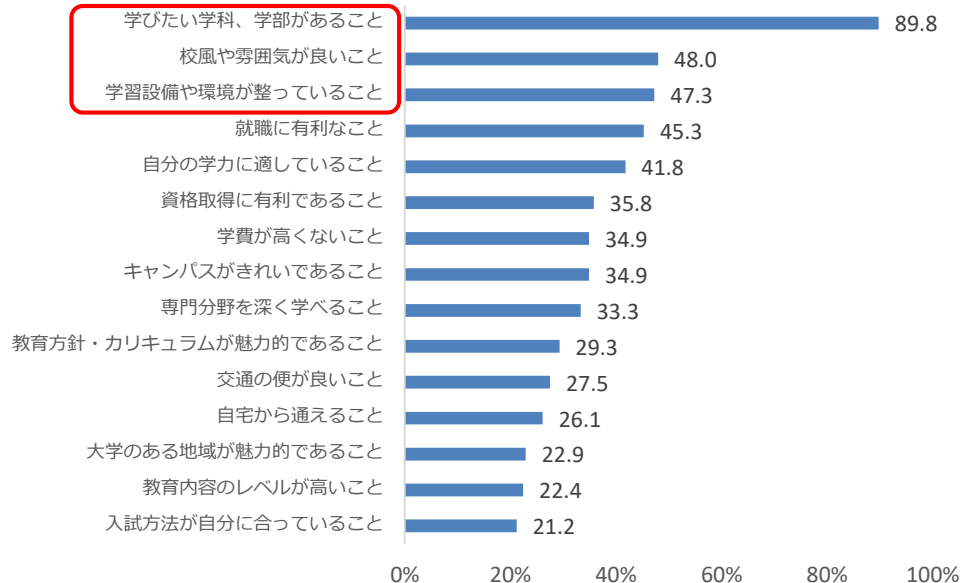
進学を最も希望する地域（上位5項目）



住んでいる市・町に戻って来たいか



志望校検討で重視すること（上位15項目）

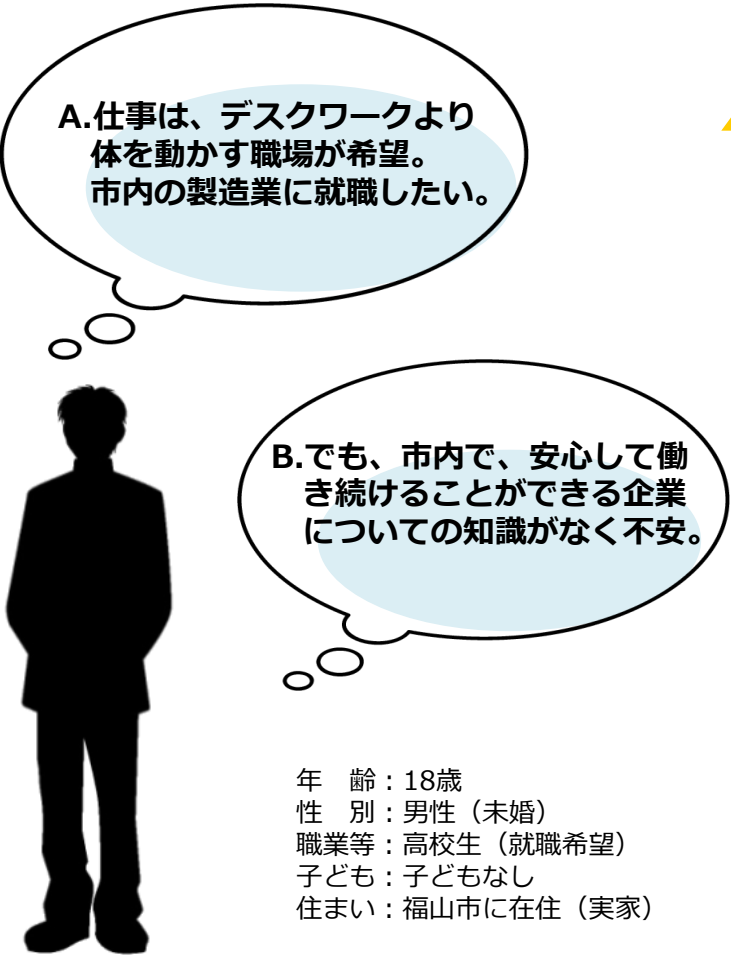


※「若者（高校生）の定住志向に関するアンケート調査」（2020年7月）から市内高校生、女性の回答を集計

ペルソナ② 高3就職男子

地元企業への就職を予定している
高校3年生の男子

福山で暮らす“未来を描く”



A.仕事は、デスクワークより
体を動かす職場が希望。
市内の製造業に就職したい。

B.でも、市内で、安心して働
き続けることができる企業
についての知識がなく不安。

年 齢：18歳
性 別：男性（未婚）
職業等：高校生（就職希望）
子ども：子どもなし
住まい：福山市に在住（実家）

市内企業の認知度向上・職業観の醸成

○ ④ 高校生向けの企業・職業説明会

- 市内の高校生を対象に、備後圏域内の企業・職業についての説明会を実施

○ ゲンバ男子 官民連携

- 製造業の現場で働く若者を専用サイトを通じて紹介し、製造業界における若者の人材確保・イメージアップを促進

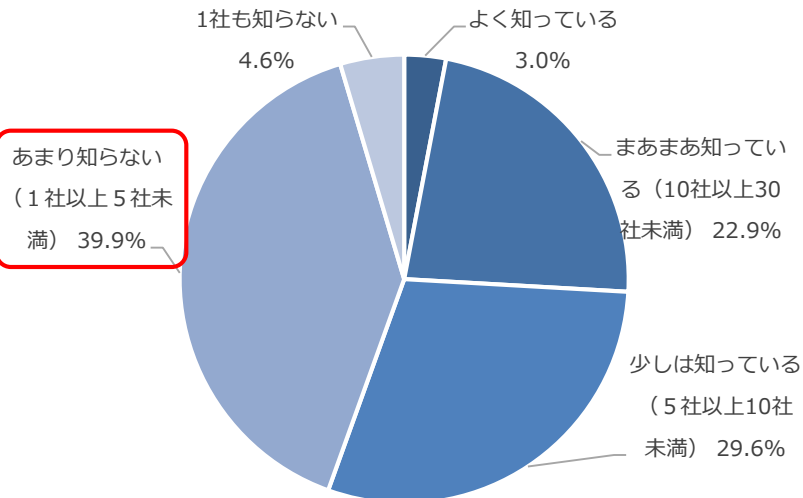
詳細

福山市在住 高校3年生（男子）の進路状況

		女子高校生		男子高校生	
進学	大学等	市内	12.3% 280人	12.2% 280人	
		市外	44.4% 1,011人	44.1% 1,009人	
	専門学校	25.8% 588人	20.7% 474人		
就職	市内	10.2% 232人	15.7% 359人		
	市外	0.8% 19人	2.7% 62人		
その他		6.5% 148人	4.6% 105人		
合計		100% 2,278人	100% 2,289人		

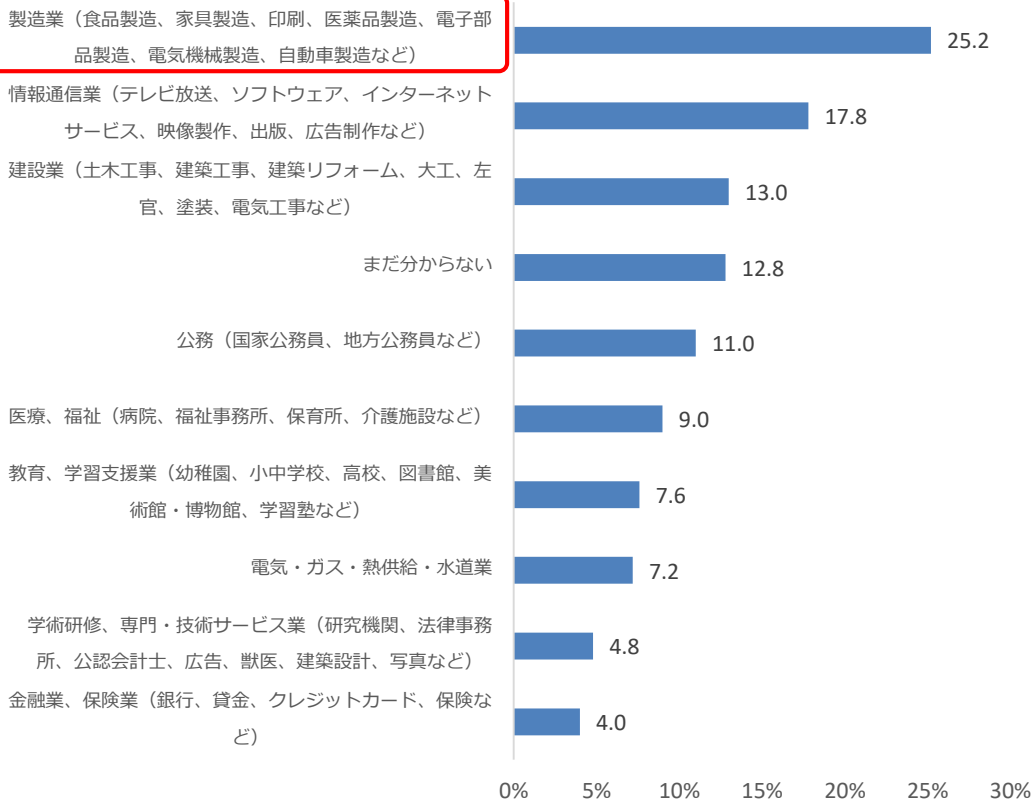
※「平成27年国勢調査人口等基本集計」などを基に推計

福山の企業をどのくらい知っているか

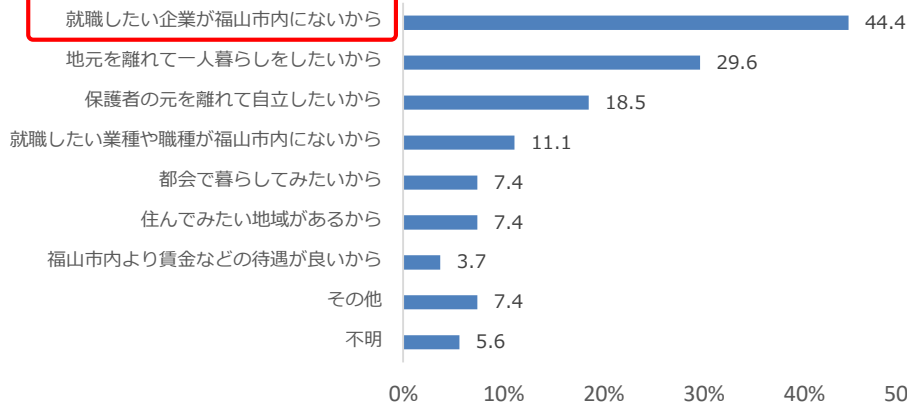


※「若者（高校生）の定住志向に関するアンケート調査」（2020年7月）から市内高校生、男性の回答を集計

将来、働きたい業種（上位10項目）



市外に就職希望の理由



就職で福山に戻るかどうか
悩んでいる 大学3年生

学生が企業の“理解を深める”

市内企業とのマッチング強化

- **〈拡〉企業説明会のオンライン開催** 官民連携
 - 福山市・府中市の企業の説明会をオンラインで開催
- **〻企業による奨学金返済支援制度の創設**
 - 従業員に対する奨学金返済支援制度を創設した企業への補助

地元就職の魅力向上

- **〈拡〉企業・事業者のデジタル化支援**
 - 備後圏域内の中小企業等のICT化を支援するため、相談窓口や事例研究の場を設置
 - 首都圏のデジタル関連企業と市内企業の交流を目的としたビジネスキャンプの開催
- **〻IT導入の補助**
 - WEB会議システムやテレワーク環境等を整備する企業に整備費用を補助

- **ワーク・ライフ・バランスの推進**
 - 多様な働き方ができる職場環境づくりを推進

居心地の良いウォーカブルな都市空間の整備

- **〻ウォーカブル推進事業**
 - 中心市街地の歩道などにベンチやオープンテラスを設置するなど、歩いて楽しい空間づくりの推進

A. 福山に戻りたい意識は強くなったけど、地元企業のことわからなくて不安。

B. 働くなら福利厚生が充実していることはもちろん、ライフスタイルに応じた働き方ができる職場がいいな。

C. 福山駅前の魅力が高まり、にぎわいが増えるといいな。

年齢：21歳
性別：男女（未婚）
職業等：大学生（就職活動中）
子ども：子どもなし
住まい：福山市出身
市外に在住（賃貸住宅）

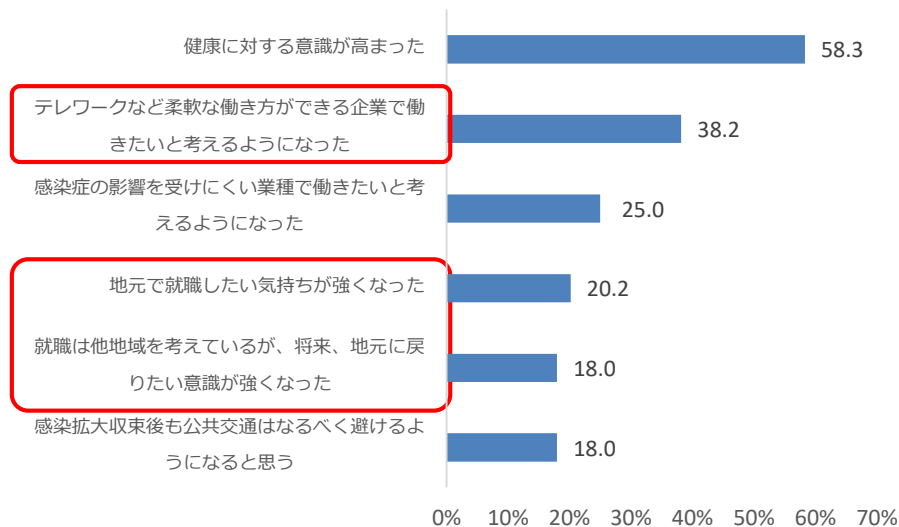
詳細

市外大学などへ進学した福山市出身者の 地元での就職希望状況

	女子大学生		男子大学生		合計	
福山市に戻ってきたい	17.8%	360人	17.2%	347人	35.0%	707人
わからない	19.4%	393人	20.7%	418人	40.1%	811人
福山市に戻ってきたくない	12.8%	258人	12.1%	244人	24.9%	502人
合計	50.0%	1,011人	50.0%	1,009人	100%	2,020人

※「平成27年国勢調査人口等基本集計」などを基に推計

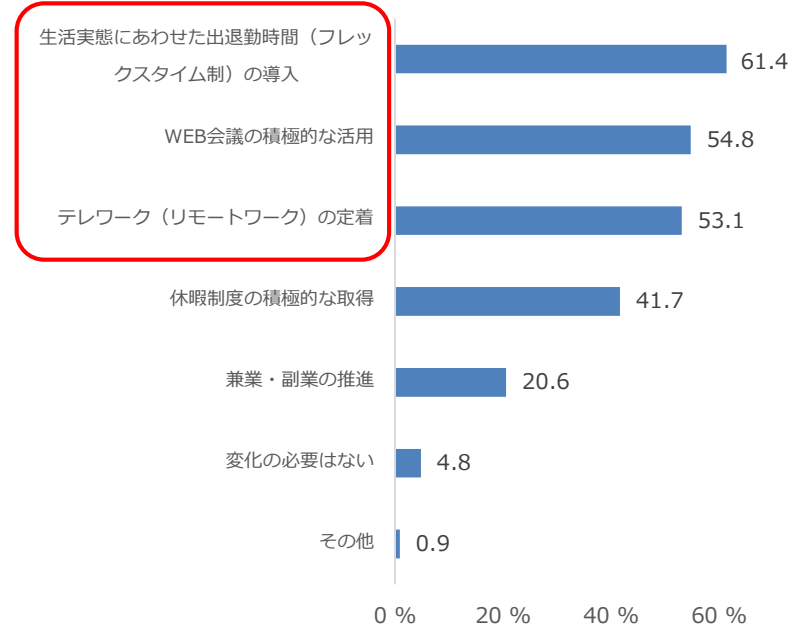
コロナ感染拡大による「意識の変化」(上位5項目)



福山市に就職する学生が増えるために必要なこと



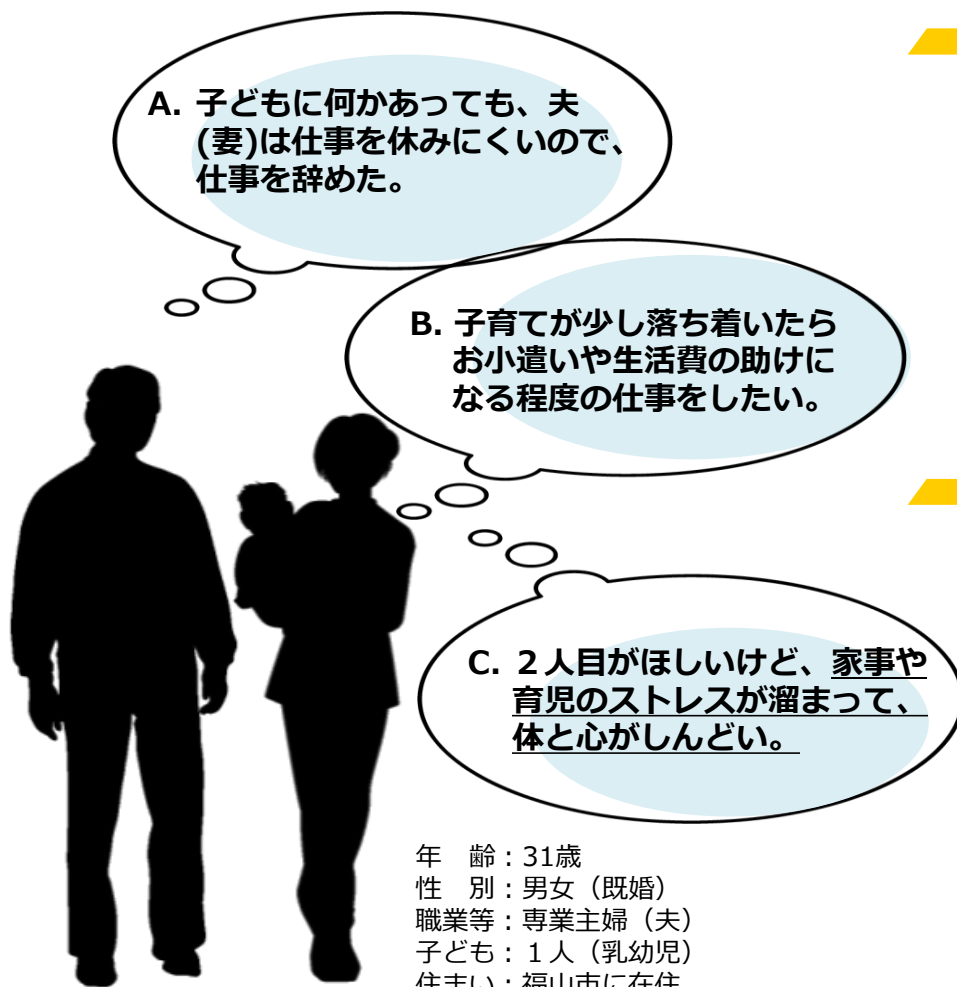
コロナ感染拡大収束後の働き方はどうあるべきか



※「市外に進学した福山市出身学生の就職観等に関するアンケート調査」(2020年7月)から市外大学生、男女の回答を集計

出産を機に退職した25～39歳
子育て中の専業主婦(夫)

みんなの“働きたい”を応援



詳細

仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくり

○ 男性の育児休業取得支援

- 企業が男性の育児休業取得者の代替人材を雇用する場合に、その経費を補助

○ 女性向け合同企業説明会

- 「子育て中の女性が働きやすい企業」を中心とした、女性向け合同企業説明会を実施

子育て女性の心と体のケア

○ 産婦健康診査の補助

- 出産後問もない産婦に対して、母体の身体的機能の回復や精神状態の把握等を行う健康診査の補助

○ 〈拡〉産後ケアの充実

- 対象を産後2か月から産後1年までに拡充。家庭を訪問し、母体の体調管理や心身のケアなどの支援を実施

○ オンライン「おしゃべり広場」

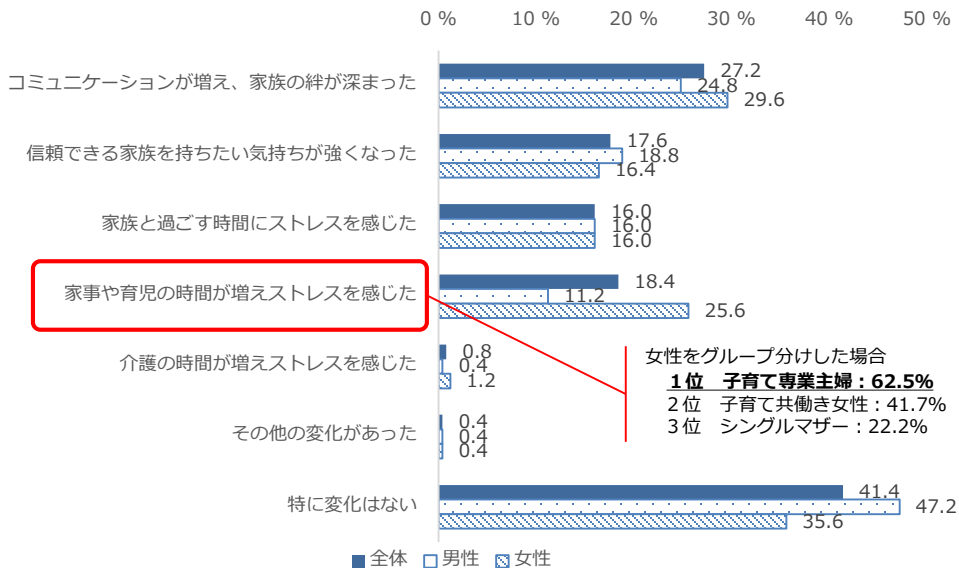
- 子育てに関する個別相談や親同士のつながりを作る座談会をオンラインで実施

福山市在住 子育て専業主婦（夫）の割合

福山市在住 世帯主25～39歳		世帯	
核家族世帯	夫婦 子どもあり	専業主婦（夫）	17.9% 5,779世帯
	夫婦 子どもなし	共働き	25.7% 8,296世帯
核家族世帯	女親 子どもあり		11.5% 3,710世帯
	男親 子どもあり		7.1% 2,305世帯
単独世帯			0.4% 140世帯
その他			33.1% 10,702世帯
合計			4.3% 1,370世帯
			100% 32,302世帯

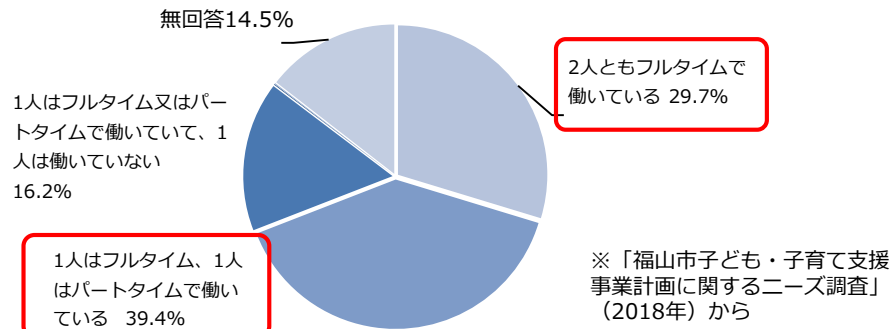
※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」などを基に推計

家族との関係の変化(昨年比)

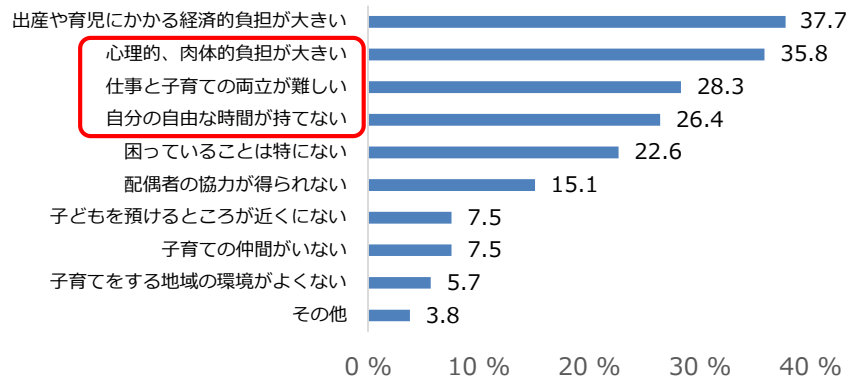


※「新型コロナウイルス感染症による住民の意識・行動変化に関するアンケート調査」（2020年6月）から 備後圏域在住、男女の回答を集計

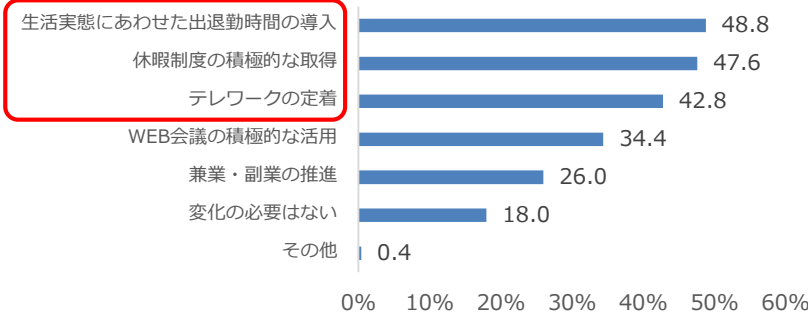
1年以内に希望する就労状況



子育てをする上での不安や悩み



コロナ収束後の働き方はどうあるべきか（女性）



※「新型コロナウイルス感染症による住民の意識・行動変化に関するアンケート調査」（2020年6月）から 備後圏域在住、女性の回答を集計

3人目を考えている25～39歳
子育て中の共働き女性

子どもの成長に“幸せ”を感じる

子育てサポートの充実

○ 新ファイナンシャルプランナー相談

- ライフプランや経済面の不安などについてのファイナンシャルプランナーへの相談

○ 福山ネウボラの運営

- ネウボラ相談窓口「あのね」（市内13か所）を核とした妊娠期～子育て期まで切れ目ない支援の実施

○ 子育てパパの育児参加促進

官民連携

- 市内企業と連携し、子育てパパ活躍ウィークなどを実施

○ 新男性の育児休業取得支援（再掲）

子どもが健やかに成長できる環境づくり

○ 新ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」を商業施設で再開

○ 新親子で学び・楽しめる場の充実

- （仮称）子ども未来館基本構想の策定、びんごキッズラボの開催、初級スケートボードパークの基本計画の策定、富谷公園の遊具美装化など、親子で学び・楽しめる場の整備

A. 3人目を考えているけど、経済的な不安だけでなく、夫の育児へのサポートにも不満。

B. 夫の会社に休暇制度はあるけど、急に保育所が休みになったときや子どもの体調不良などで休むのはいつも私。

年齢：38歳
性別：女性（既婚）
職業等：会社員
子ども：2人（幼児（保育所））
住まい：福山市に在住

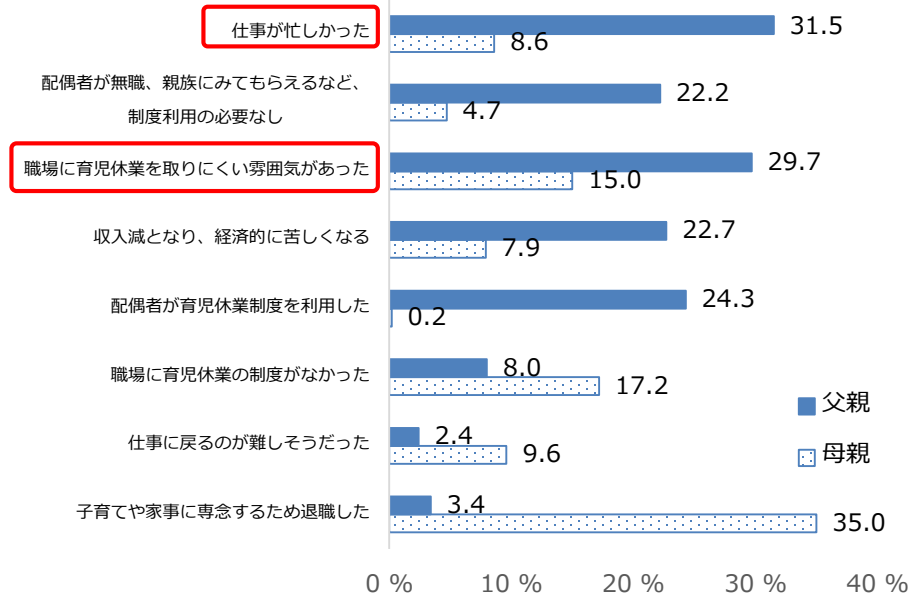
詳細

福山市在住 子育て共働き世帯の割合

福山市在住 世帯主25～39歳		世帯	
核家族世帯	子どもあり	専業主婦(夫)	17.9% 5,779世帯
	子どもなし	共働き	25.7% 8,296世帯
単独世帯	子どもあり		7.1% 2,305世帯
	子どもあり		0.4% 140世帯
合計			100% 32,302世帯

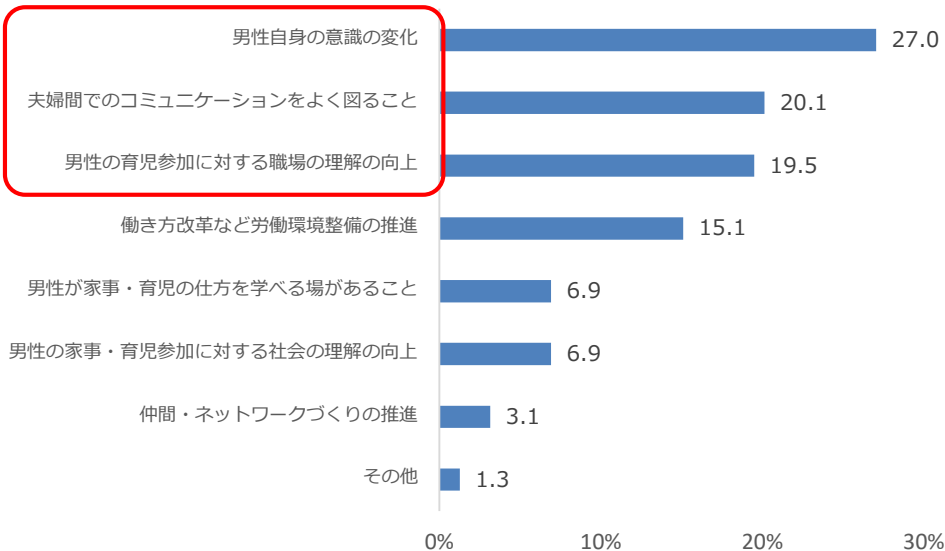
※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」を基に推計

育児休業を取得していない理由



※「福山市子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査」(2018年)から

男性の育児参加に必要なこと



※子育てパパ活躍ウィーク参加者アンケート調査(2020年11月)から

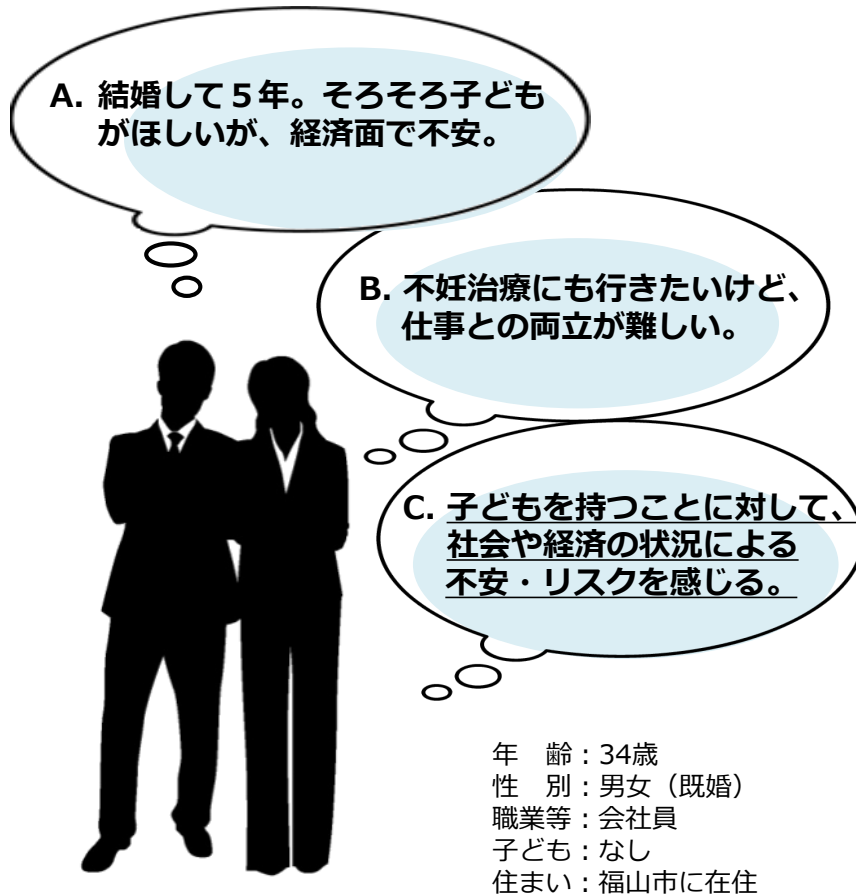
ペルソナの声

- 配偶者の子育てサポートについて
 - ・子育てには関わってくれるが、もう少し自主的に関わってほしい。
- 配偶者の職場の休暇制度について
 - ・毎日仕事から帰ってくるのが遅いので、実質ワンオペ状態でしんどい。
 - ・休暇制度は充実しているが、制度を使いにくい雰囲気があり、自分が仕事を休むことが多い。
- 子育てにかかる費用について
 - ・漠然としたお金への不安がある。
 - ・子育てにどれくらいお金がかかるか知りたい。

※ペルソナモニターインタビュー(2019年7月)
 ※子育てパパ活躍ウィーク参加者アンケート調査(2020年11月)

妊娠を希望している25～39歳
共働き夫婦

妊娠・出産・子育ての“不安解消”



詳細

子育てにかかる負担の軽減

○ 〈拡〉不妊治療・不育症治療費の助成

- 医療機関における一般不妊治療や特定不妊治療、不育症治療に係る自己負担額を一部助成し、妊娠を希望する夫婦の経済的負担を軽減

○ ④出産育児特別応援金

- コロナ禍において、新たに出産・育児をする世帯に応援金を支給

妊娠と仕事の両立支援

○ ワーク・ライフ・バランスの推進（再掲）

- 不妊治療と仕事が両立できる職場環境づくりに向けて、企業への周知啓発を実施

安心して子どもを生み、育てられる環境の整備

○ ④周産期・小児救急医療体制の強化

- 大学と連携した医師の確保・育成
- 初期臨床研修医の研修などに要する費用の補助
- 24時間365日対応の小児救急医療体制の整備

福山市在住 共働き夫婦（子どもなし）の割合

福山市在住 世帯主25～39歳		世帯	
夫婦	子どもあり	専業主婦（夫）	17.9% 5,779世帯
		共働き	25.7% 8,296世帯
核家族世帯	子どもなし		11.5% 3,710世帯
女親	子どもあり		7.1% 2,305世帯
	子どもあり		0.4% 140世帯
単独世帯			33.1% 10,702世帯
その他			4.3% 1,370世帯
合計			100% 32,302世帯

※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」を基に推計

理想の子どもの人数をもつための条件（子どもがいない既婚者）



※「市政に対するニーズ把握のための定量調査」（2018年）から福山市在住、既婚、子どもなしの回答者を集計

仕事と不妊治療の両立について

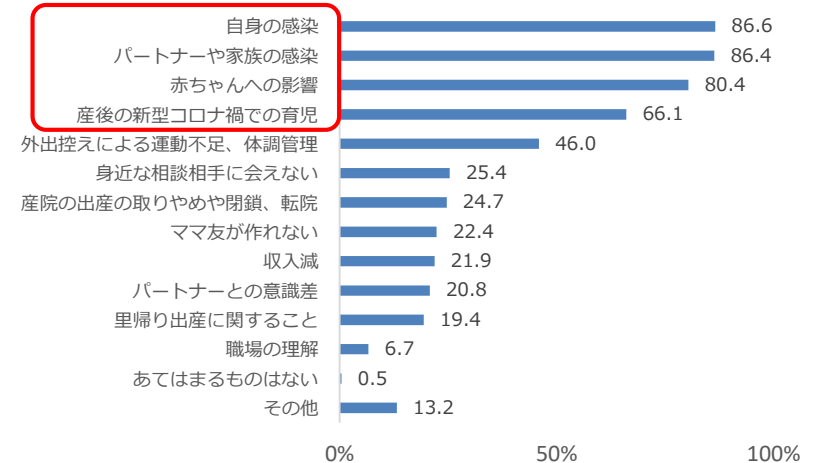
5.5組に1組

不妊の検査や治療を受けたことがある（または現在受けている）夫婦は**5.5組に1組**（全体で18.2%）
（出所：国立社会保障・人口問題研究所「2015年社会保障・人口問題基本調査」）

95.6%

仕事をしながら不妊治療を経験したことがある人のうち**95.6%**が「**両立は困難**」
（出所：特定非営利活動法人Fine（ファイン）「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート」（2017年）（<http://j-fine.jp/>））

妊娠期間中、コロナの影響で不安に感じていること



※ 出所：株式会社ステムセル研究所「2月4日「妊娠の日」妊婦の意識調査」（2021年1月）

ペルソナの声

- ・ 妊娠中のコロナ感染による胎児への影響が心配。
- ・ コロナで里帰り出産や立会出産ができない、遠方の家族の協力が得られない、講座やマタニティスクールが中止になるなど、妊娠・出産・子育てへの不安がある。

※妊婦からの意見（あのね相談窓口）（2021年3月）

二人の子どもを育てている25～39歳
シングルマザー

“社会”で子育てをサポート

子育てにかかる負担の軽減

○ ひとり親家庭特別応援金

- コロナの感染拡大に伴い、経済基盤が弱く厳しい状況にあるひとり親家庭に応援金を支給

○ ファイナンシャルプランナー相談（再掲）

- ライフプランや経済面の不安などについてのファイナンシャルプランナーへの相談

子育てサポートの充実

○ 子ども家庭総合支援拠点

- 専門職による相談対応や継続的なソーシャルワークの中心的役割を担う拠点機能を新設

○ 〈拡〉ひとり親家庭自立支援事業

- 就職の支援・資格取得の促進に加え、夜間休日電話相談窓口の開設や、離婚を予定している人への講座を開催

○ 子ども食堂やフリースクールの活動支援

- 子どもへの食事の提供、学習・生活支援などを実施する団体を支援し、地域における子どもの支援体制を強化

A. 子育てや教育にお金がかかる。
悩みが多いが、頼れる人や気軽に相談できる人が近くにいないと不安。

B. 子どもが病気になったとき
休みが取りやすい職場で働きたい。

C. 社会状況によって、収入の変化など家庭への影響が大きく、これからどうなるか不安。

年齢：30歳
性別：女性（未婚（離婚））
職業等：会社員
子ども：2人（小学生・幼児（保育所））
住まい：福山市に在住（賃貸住宅）

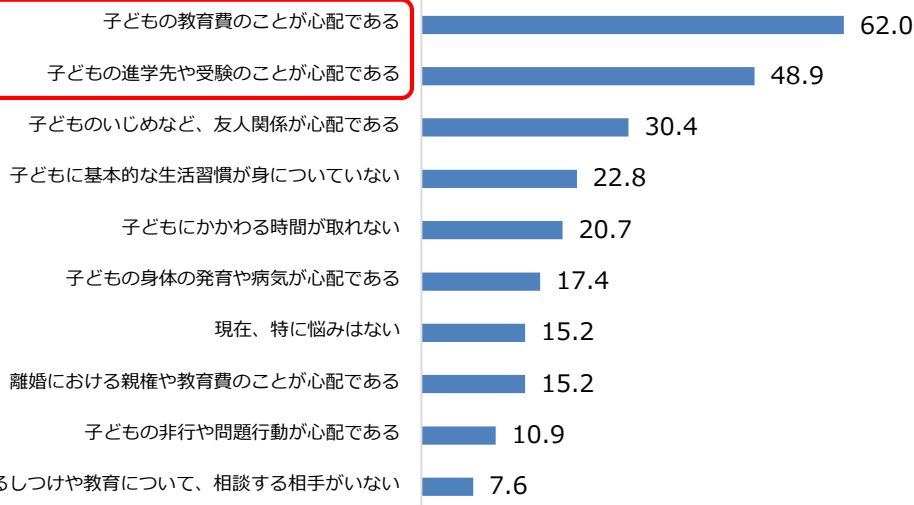
詳細

福山市在住 シングルマザーの割合

福山市在住 世帯主25~39歳		世帯	
夫婦	子どもあり	専業主婦(夫)	17.9% 5,779世帯
		共働き	25.7% 8,296世帯
核家族世帯	子どもなし		11.5% 3,710世帯
	子どもあり		7.1% 2,305世帯
男親	子どもあり		0.4% 140世帯
単独世帯			33.1% 10,702世帯
その他			4.3% 1,370世帯
合計			100% 32,302世帯

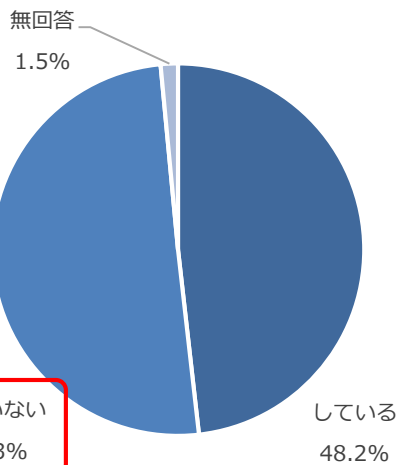
※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」を基に推計

子どもについて悩んでいること(上位10項目) (生活困難層のひとり親世帯、小学5年生保護者)

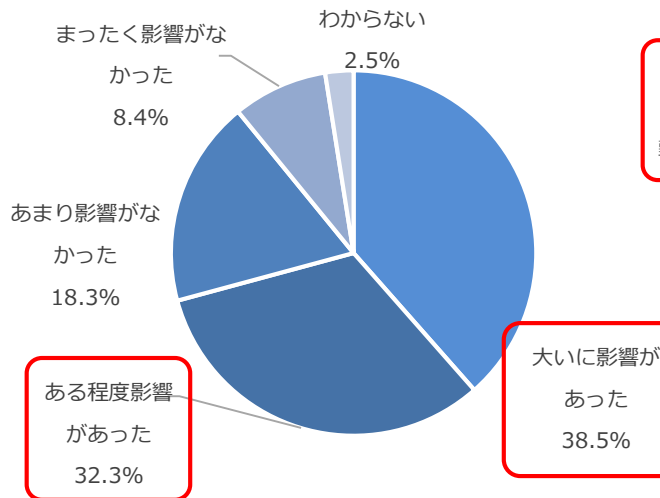


※「福山市子どもの生活に関する実態調査」(2018年)から

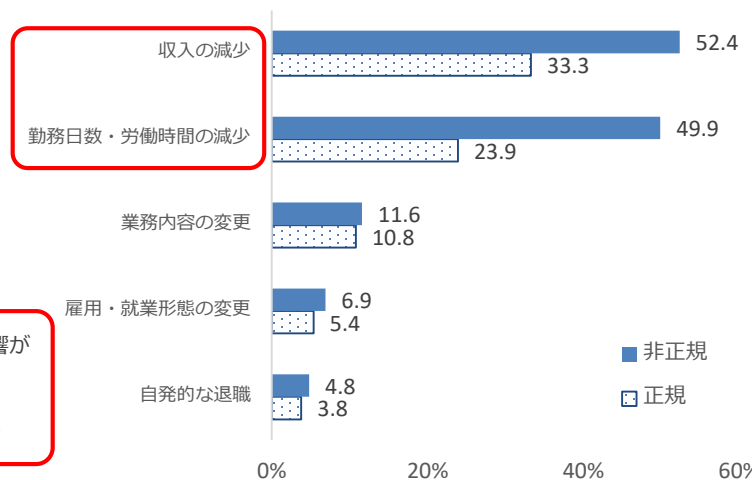
養育費の取り決め状況(母子世帯)



コロナによる雇用・収入への影響



コロナによる影響の具体的内容(上位5項目)



※出所：広島県「ひとり親家庭等自立支援施策の需要調査」(2019年)

※出所：認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ&シングルマザー調査プロジェクト「新型コロナウイルス 深刻化する母子世帯の暮らし」(2020年7月)

地方への移住を考えている
25～39歳 未婚の会社員

福山で働く・暮らすを“体験”

A. 住む場所を制限されない
働き方を実現したいが、
イメージが湧かない。

B. 地域での人間関係や地元
企業とのコネクションが
なく不安。

C. 移住への気持ちは更に強くなっ
たけど、生活の利便性が下がる
イメージがあって迷う。

年齢：30歳
性別：男女（未婚）
職業等：会社員
（クリエイティブ（IT・デザイン）系）
子ども：なし
住まい：首都圏・関西圏に在住（賃貸住宅）

多様な働き方の推進

○ 〈拡〉ワーケーションふくやま

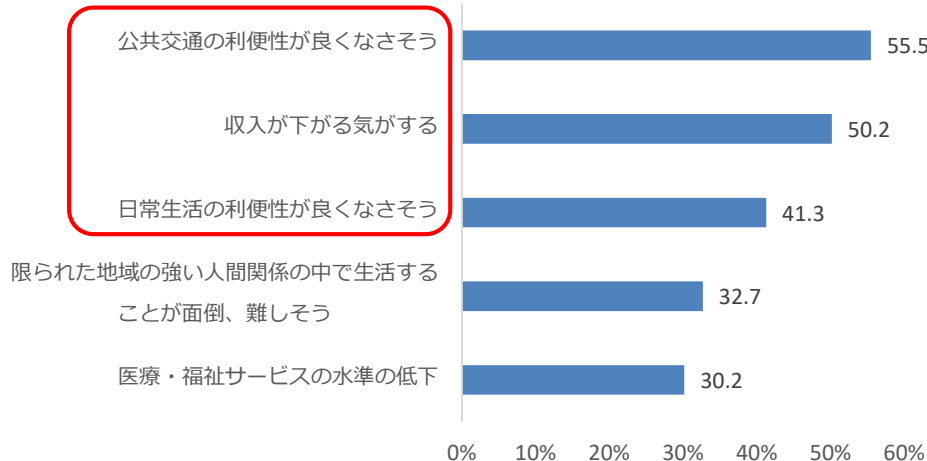
- ▶ 首都圏等のクリエイティブ人材などに、福山で働く・暮らす・交流する場を提供
- ▶ びんご圏域周遊型ワーケーションツアーを新たに実施

○ 新企業の人材確保支援の強化

- ▶ 市内企業が求める人材と都市圏等の転職希望者をマッチングし、インターンシップを実施
- ▶ 企業による自社就職試験への参加費支給に対する補助

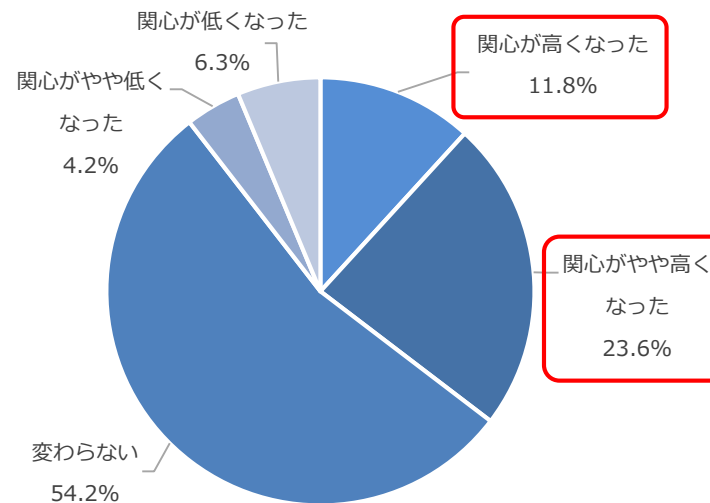
詳細

地方圏での暮らしに対してのネガティブイメージ（上位5項目）



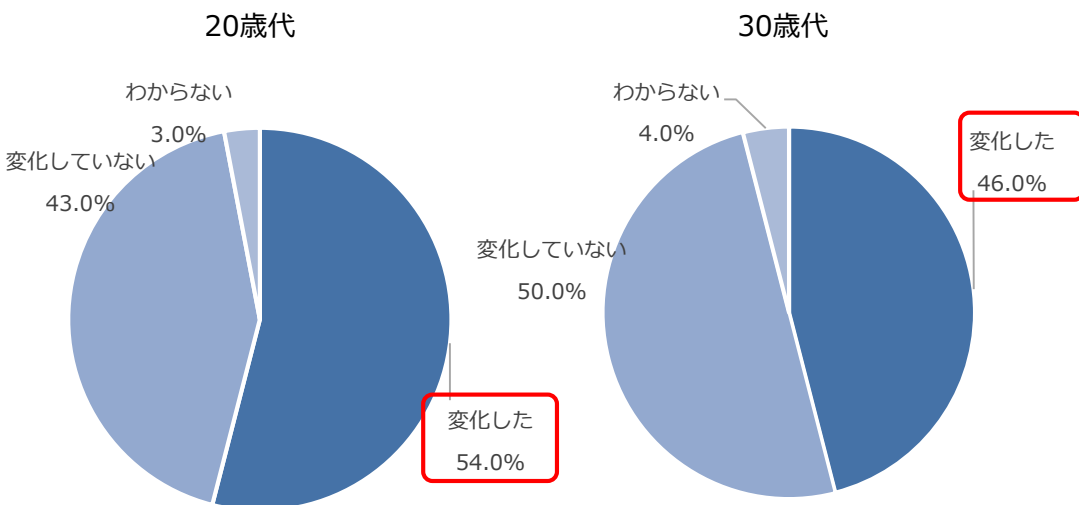
※出所：内閣官房「東京圏以外の地域（地方圏）での暮らしの意識・行動を把握するためのWEBアンケート調査」（2020年1月）

地方移住への関心（東京都23区、20歳代）



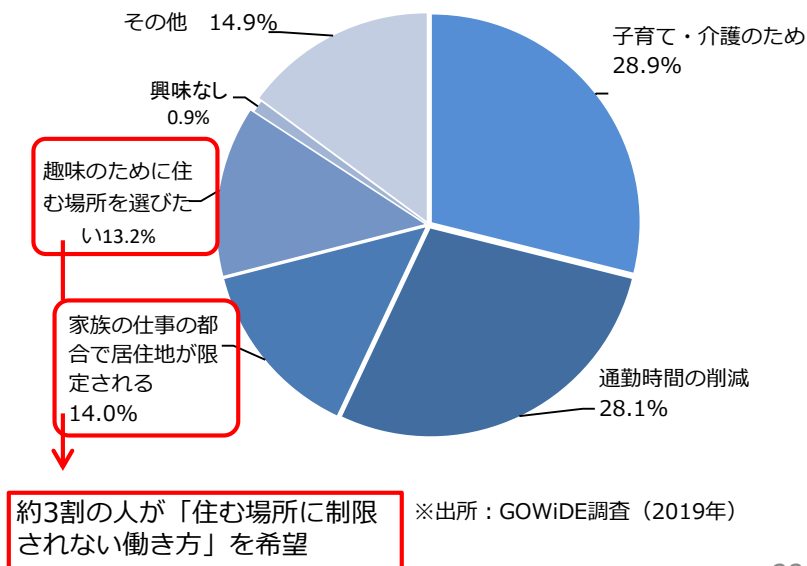
※出所：内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（2020年6月）

コロナ感染拡大前と比べた、職業選択・副業等の希望の変化



※出所：内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（2020年6月）

リモートワークを実施したい理由



※出所：GOWiDE調査（2019年）

一家で移住を考えている25～39歳
既婚の男性会社員

移住者が“暮らしたい”まち

A. 自然豊かな環境で子育てをしたいが、待機児童や地方の教育環境が不安。

B. 地元で家を持つことや親の介護など、将来設計を考えないと。

C. 関西圏の企業に就職したけど、自分のスキルを地元の企業で活かしたい。



年齢：37歳
性別：男性（既婚）
職業等：会社員
子ども：2人（幼児（保育所）・乳幼児）
住まい：備後圏域出身（Uターン希望）
関西圏に在住（賃貸住宅）

詳細

子育て・教育・生活環境の充実

○子ども主体の学びの推進

- 教科・学年の横断的な教育課程の編成、福山ティーチャーズ・アカデミー等を通じた子ども主体の学びの推進

○GIGAスクール事業

- タブレット端末を活用したオンライン教育の推進

移住後の生活スタイルを発信

○地域おこし協力隊による情報発信

- 田舎暮らしの情報・魅力をSNSなどで発信

移住促進策の強化

○民間ビッグデータを活用した移住促進

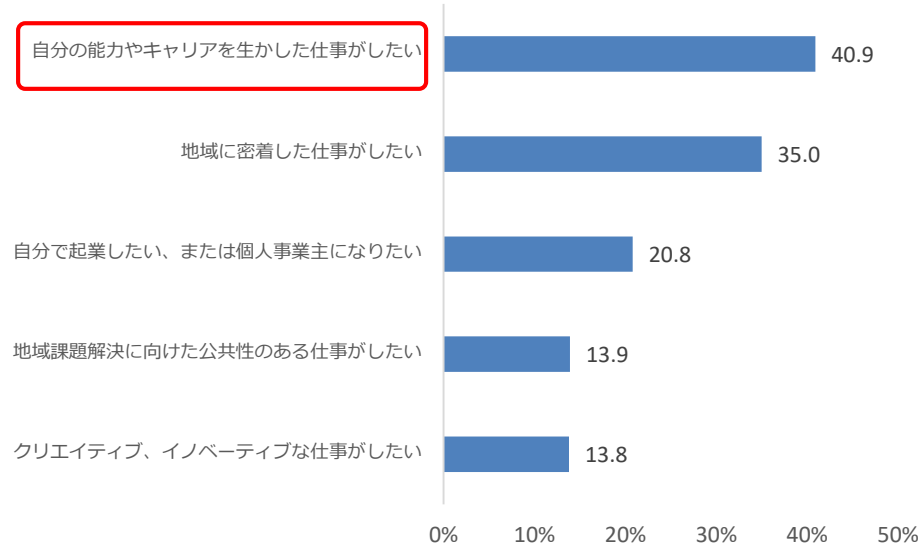
- ビッグデータ分析で抽出した、移住関心層へのオンライン移住ツアーの実施

関西圏在住 移動の可能性がある 既婚の男性社員の割合

関西圏在住 25~39歳 福山市出身者		男性	女性	合計	
未婚	就業者 (主に仕事)	移動の可能性がある 転勤以外	13.6% 770人	14.7% 873人	14.1% 1,643人
		移動の可能性がある 転勤	3.9% 223人	0.9% 55人	2.4% 278人
	移動の可能性がある ない	19.1% 1,084人	16.3% 967人	17.7% 2,051人	
その他		12.8% 727人	10.4% 615人	11.6% 1,342人	
既婚	就業者 (主に仕事)	移動の可能性がある 転勤以外	11.1% 632人	29.8% 1,771人	37.3% 4,336人
		移動の可能性がある 転勤	4.4% 249人	29.8% 1,771人	37.3% 4,336人
	移動の可能性がある ない	29.7% 1,684人	27.9% 1,654人	16.9% 1,960人	
その他		5.4% 306人	27.9% 1,654人	16.9% 1,960人	
合計		100% 5,675人	100% 5,935人	100% 11,610人	

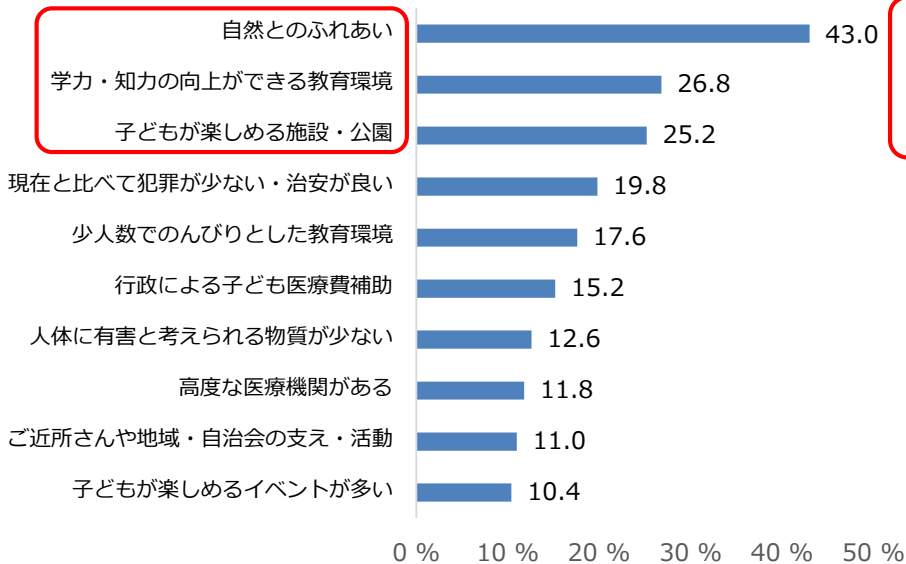
※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」などを基に推計

地方圏でやりたい仕事のイメージ（上位5項目）



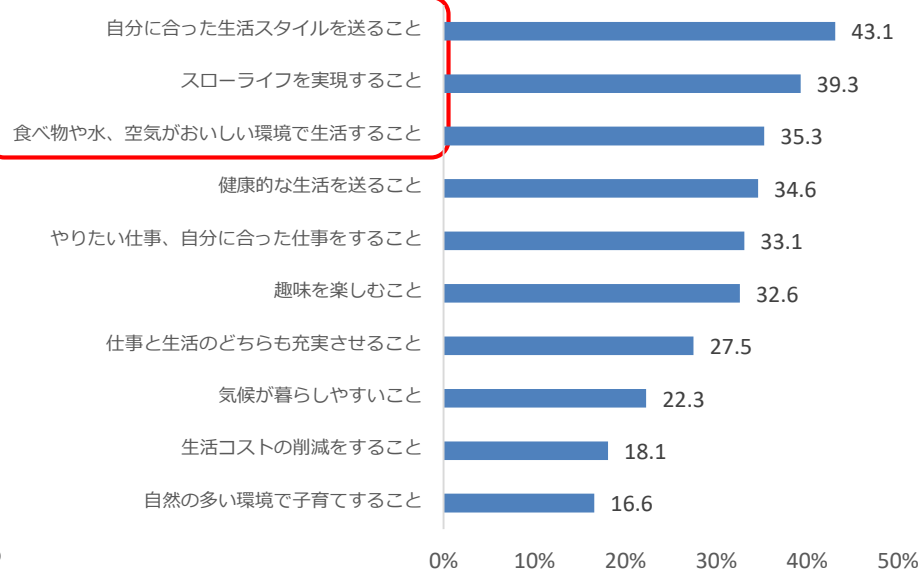
※出所：内閣官房「東京圏以外の地域（地方圏）での暮らしの意識・行動を把握するためのWEBアンケート調査」（2020年1月）

移住先の子育て環境で重視する条件（上位10項目）



※出所：（一社）移住・交流推進機構「若者の移住」調査」（2018年）

移住先で期待するライフスタイル（上位10項目）



※出所：内閣官房「東京圏以外の地域（地方圏）での暮らしの意識・行動を把握するためのWEBアンケート調査」（2020年1月）

4 ペルソナごとの成果目標

ペルソナ	2021年度 成果目標	実績値（最新）
【重点】 ペルソナ① 高3進学女子	<ul style="list-style-type: none"> ○将来、福山市に戻ってきたいと思う高3進学女性の割合：60.0% ○高校3年生の市内企業の認知度：60.0% 	42.2%（2019年度） 43.7%（2019年度）
ペルソナ② 高3就職男子	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生の地元就職率：75.0% 	66.6%（2020年度）
【重点】 ペルソナ③ 就活大学生	<ul style="list-style-type: none"> ○20歳～24歳の男女転出入数：±0人 	281人転出超過 （2020年）
ペルソナ④ 子育て専業主婦（夫）	<ul style="list-style-type: none"> ○女性の就業率（30歳～34歳配偶者あり）：70.0% 	61.5%（2017年）
【重点】 ペルソナ⑤ 子育て共働き女性	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの成長に幸せを感じる共働き女性の割合：100.0% ○自分の時間が持てると回答した女性の割合：100.0% ○男性の育児休業取得率：10.0% 	99.2%（2019年度） 82.8%（2019年度） 3.1%（2018年）
【重点】 ペルソナ⑥ 共働き夫婦（子どもが欲しい）	<ul style="list-style-type: none"> ○（ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者のうち） 女性従業員の妊娠に対する配慮を行っている企業の割合：65.0% 	42.2%（2020年度）
ペルソナ⑦ シングルマザー	<ul style="list-style-type: none"> ○児童扶養手当受給者における全部支給者の割合：50.0% 	61.8%（2019年度）
ペルソナ⑧ 移住希望未婚男女	<ul style="list-style-type: none"> ○25歳～39歳の男女転出入数：50人転入超過 	220人転出超過 （2020年）
ペルソナ⑨ 移住希望既婚男性	<ul style="list-style-type: none"> ○福山市への移住意向：20.0% 	14.2%（2019年）

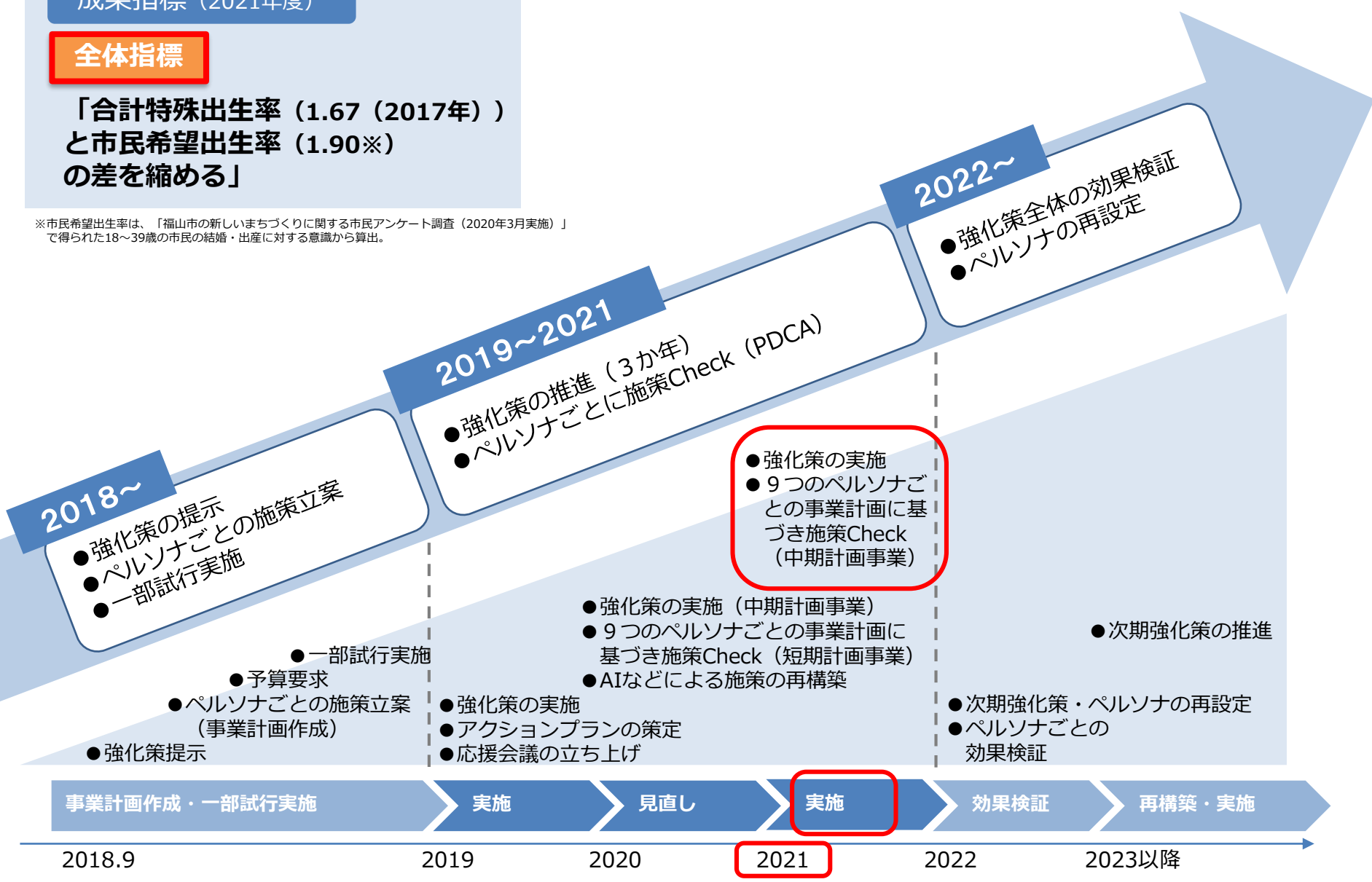
5 人口減少対策ロードマップ

成果指標 (2021年度)

全体指標

「合計特殊出生率 (1.67 (2017年))
と市民希望出生率 (1.90※)
の差を縮める」

※市民希望出生率は、「福山市の新しいまちづくりに関する市民アンケート調査 (2020年3月実施)」
で得られた18~39歳の市民の結婚・出産に対する意識から算出。



2018~

- 強化策の提示
- ペルソナごとの施策立案
- 一部試行実施

- 強化策提示
- ペルソナごとの施策立案 (事業計画作成)
- 一部試行実施
- 予算要求

2019~2021

- 強化策の推進 (3か年)
- ペルソナごとに施策Check (PDCA)

- 強化策の実施
- アクションプランの策定
- 応援会議の立ち上げ

- 強化策の実施
- 9つのペルソナごとの事業計画に基づき施策Check (中期計画事業)

- 強化策の実施 (中期計画事業)
- 9つのペルソナごとの事業計画に基づき施策Check (短期計画事業)
- AIなどによる施策の再構築

2022~

- 強化策全体の効果検証
- ペルソナの再設定

●次期強化策の推進

- 次期強化策・ペルソナの再設定
- ペルソナごとの効果検証

事業計画作成・一部試行実施

実施

見直し

実施

効果検証

再構築・実施

2018.9

2019

2020

2021

2022

2023以降

2020年度見直し → 2021年度実施

6 2021年度 ペルソナに対する施策一覧

ペルソナ					分類	事業名	予算額 (単位：千円)	担当部署
①	②					若者人材育成等支援事業（出前講座）	655	産業振興課
①	②					高校生会議	200	青少年・女性活躍推進課
①	②					グローバル人材育成事業費	1,292	福山中・高等学校
①	③					官民協働留学支援事業（トビタテ！留学JAPAN）	8,586	まちづくり総務課
①						市外大学への通学支援	15,000	企画政策課
①	③	⑤	⑥			産学官連携調査研究事業（市内外の大学と連携した人材育成等）	948	企画政策課ほか
①					新規	未来創生人材育成奨学金資金貸付事業（奨学資金元利補給補助）	200	学事課
②					新規	高校生向けの企業・職業説明会	-	産業振興課
②						ゲンバ男子	-	産業振興課
③	⑨					市内企業への就職応援事業（就職試験への参加費支給に対する補助）	300	産業振興課
③						福山市企業立地促進条例に基づく助成制度	-	企業誘致推進課
③	④	⑤	⑥	⑦		【国事業】働き方改革相談窓口の設置	-	産業振興課
③	④	⑤	⑥	⑦		健康経営促進セミナーの開催	-	企画政策課
③	④	⑤	⑥	⑦		ふくやまワーク・ライフ・バランス認定	193	産業振興課
③	①					福山駅前デザイン会議等の運営	26,118	福山駅前再生推進室
③	①				新規	ウォークアブル推進事業	94,387	福山駅前再生推進室ほか
③	④	⑤	⑥	⑦	新規	IT導入支援事業費補助	3,000	産業振興課
③	④	⑤	⑥	⑦	拡充	中小企業等に対するICT化支援の実施	30,000	先端技術推進室
③	④	⑤	⑥	⑦	新規	ふくやまビジネスキャンプの開催	14,000	先端技術推進室

ペルソナ					分類	事業名	予算額 (単位：千円)	担当部署
③					拡充	オンライン就職ガイダンス（雇用対策協議会）	6,000	産業振興課
③					新規	奨学金返済支援事業費補助	3,600	産業振興課
④						女性向け合同企業説明会	900	産業振興課
④						女性活躍推進事業	-	産業振興課
④						ネウボラ運営事業（ハローワークと連携した就労・再就職支援）	-	ネウボラ推進課
④	⑤	⑥	⑦	⑨		子育て支援情報の発信（アプリ，HP）	660	ネウボラ推進課
④	⑤	⑦				子育てにやさしい企業の発信	-	産業振興課
④	⑤	⑥	⑦			オンライン「おしゃべり広場」	-	ネウボラ推進課
④	⑤	⑥				子育て応援プレゼント事業	8,750	ネウボラ推進課
④	⑤	⑥			拡充	妊娠・出産包括支援事業（産後ケア）	4,357	ネウボラ推進課
④	⑤	⑥			新規	産婦健康診査	35,943	ネウボラ推進課
④	⑤	⑥				スマート保育の実証実験	10,000	先端技術推進室ほか
④	⑤				新規	男性育児休業取得促進事業費補助	1,500	産業振興課
⑤	④	⑦	⑨			ファミリー・サポート・センター事業	9,217	ネウボラ推進課
⑤	④	⑥	⑦	⑨		ネウボラ運営事業	75,860	ネウボラ推進課
⑤	④	⑦				休日保育事業	-	保育施設課
⑤	④	⑦				保育補助者雇上強化事業	163,310	保育施設課
⑤	④	⑦				保育士資格取得支援事業	1,700	保育施設課
⑤	④	⑦				保育士確保促進事業	5,000	保育施設課
⑤	④					子育てパパの育児参加促進（子育てパパ活躍ウィーク）	380	ネウボラ推進課ほか
⑤	④					びんまる男性育休記事	-	産業振興課

ペルソナ				分類	事業名	予算額 (単位：千円)	担当部署
⑤	①	④	⑦		中央公園Park-PFI事業		- 公園緑地課
⑤	④				夢みるパパとママの会, 男性育児講座		- ネウボラ推進課ほか
⑤	④	⑥	⑦	新規	子育て世代FP相談会	370	ネウボラ推進課
⑤	④	⑦	⑨	新規	富谷公園遊具等美装化	6,000	公園緑地課
⑤	④	⑥	⑦	新規	えほんの国等運営事業	76,860	ネウボラ推進課
⑤	④	⑥	⑦	拡充	都市公園の整備	12,000	公園緑地課
⑤	④	⑥	⑦	新規	(仮称)「子ども未来館」プロジェクト	12,000	企画政策課
⑤	④	⑥	⑦	拡充	びんごキッズラボ (中小企業等に対するICT化支援)		- 先端技術推進室
⑥				拡充	不妊治療費助成事業	116,140	健康推進課
⑥					不育症治療費助成事業	2,810	健康推進課
⑥					風しん抗体検査事業		- 保健予防課
⑥	③	④	⑤		女性の就業環境改善に対する補助	3,600	産業振興課
⑥	④	⑤	⑦	新規	小児救急医療の拠点化	39,446	市民病院総務課
⑥	④	⑤	⑦	新規	周産期医療寄付講座	20,033	保健部総務課
⑥	④	⑤	⑦		小児二次救急医療体制確保事業	10,273	保健部総務課
⑥	④	⑤	⑦	新規	医師確保対策事業費補助	7,500	保健部総務課
⑥	④	⑤		新規	出産育児特別応援金	182,600	ネウボラ推進課
⑦					子育て世帯向け住宅改修事業 (市営住宅の改修)	13,000	住宅課
⑦				拡充	就学援助	66,600	学事課
⑦					子どもの生活・学習支援事業 (ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援事業)	14,038	ネウボラ推進課ほか
⑦	⑤	⑥			放課後児童クラブの運営		- 保育施設課ほか

ペルソナ					分類	事業名	予算額 (単位：千円)	担当部署
⑦	④	⑤	⑥			子どもの医療費助成	528,009	ネウボラ推進課
⑦	⑤					病児・病後児保育事業	53,946	保育施設課
⑦				拡充		ひとり親家庭自立支援事業	81,408	ネウボラ推進課
⑦	④	⑤	⑥	新規		子ども家庭総合支援拠点	97,199	ネウボラ推進課
⑦				新規		ひとり親家庭特別応援金	125,100	ネウボラ推進課
⑦	④	⑤	⑥	新規		児童見守り支援事業	8,138	生活福祉課
⑧				拡充		ワーケーション推進事業（ワーケーションふくやま）	10,188	企画政策課
⑧	⑨			新規		人材確保支援（インターンシップ）事業	6,134	産業振興課
⑨	⑧					首都圏人材還流支援事業	2,500	企画政策課
⑨						高度専門人材活用推進事業（プロフェッショナル人材の活用）	9,094	企画政策課
⑨						小学校「学びづくりフロンティア校」事業	123	学びづくり課
⑨						中学校「教科の専門性パワーアップ」事業	3,660	学びづくり課
⑨						学力の伸びを把握する調査	-	学びづくり課
⑨						小中一貫教育推進事業	156,147	学びづくり課
⑨						芸術文化体験事業	4,000	学びづくり課
⑨						「学びを拓く学校図書館」充実プラン	23,000	学びづくり課
⑨						ICT教育機器整備事業（電子黒板の整備）	75,420	教育総務課ほか
⑨						民間ビックデータを活用した移住促進策	2,500	企画政策課
⑨	⑧					移住者等住宅改修費補助	1,800	住宅課
⑨						GIGAスクール事業（学習端末用の通信回線等）	41,006	教育総務課ほか
⑨						地域おこし協力隊	4,400	協働のまちづくり課